

会計別決算

[単位：千円]

会計名	収入済額	支出済額	差引	翌年度繰越財源	実質収支
一般会計	19,953,749	19,390,000	563,749	210,556	353,193
特別会計					
国民健康保険	3,747,125	3,350,914	396,211	0	396,211
簡易水道	723,484	720,347	3,137	1,920	1,217
老人保健	3,687,392	3,662,586	24,806	0	24,806
下水道事業	1,644,106	1,626,532	17,574	17,574	0
墓地事業	17,254	16,936	318	0	318
介護保険	2,422,166	2,372,719	49,447	0	49,447
大塔診療所	29,726	25,172	4,554	0	4,554
農業集落排水事業	64,124	63,220	904	0	904
小計	12,335,377	11,838,426	496,951	19,494	477,457
合計	32,289,126	31,228,426	1,060,700	230,050	830,650

用語の解説

実質収支 歳入決算額から、歳出決算額を差し引きさらに翌年度に繰り越すべき財源を控除したものです。

財政力指数 財政力を示す指標。1に近い、あるいは1を超えるほど財政的に豊かです。

経常収支比率 経常的に入ってくる歳入が経常的に支出される経費にどれだけ使われているかを示す指標です。市町村では75%を上回らないのが望ましいとされています。

起債制限比率 事業の財源となる市債の発行を抑制する指標となるもので、20%以上になると一部借り入れが制限されます。

繰入金 基金や他会計からの繰入で、基金からは基金の取り崩しを指します。

市債 建設事業などを行うために国や金融機関から借り入れるお金です。

義務的経費 歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費です。人件費、公債費、扶助費がこれにあたります。

人件費 職員給与や議員報酬、各種委員報酬などです。

公債費 市が借り入れた市債(借金)の今年度の返済金です。

扶助費 生活保護、児童福祉、老人福祉などの各種扶助の費用です。

投資的経費 学校や道路の建設、災害復旧など、将来にわたって残る資本の形成に使われる経費です。

物件費 庁舎等施設の消耗品や光熱水費、業務の委託料などの経費です。

繰出金 一般会計から特別会計への繰出金です。

補助費等 団体への補助金、協議会への負担金などの経費です。

一般会計 市の行政運営の基本的な経費を計上した会計です。

特別会計 市が特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する会計です。

収益的収入と支出 企業の経営活動により発生する収益とそれに対応する費用です。

資本的収入と支出 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費やそのために必要な企業債償還金などの支出とその財源となる収入です。

企業会計決算

[単位：千円]

水道	収益的収支	収入	828,542
		支出	765,276
資本的収支	収入	92,694	
	支出	396,583	

主な財政指標

[単位：%]

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度
財政力指数	0.435	0.445	0.358
経常収支比率	97.4	102.2	105.5
起債制限比率	13.1	14.3	16.8

(平成15、16年度は旧五條市の値)

主な基金の状況

[単位：千円]

基金名	平成16年度末	平成17年度中増減	平成17年度末
財政調整基金	2,252,008	△ 682,430	1,569,578
減債基金	979,840	1,030	980,870
公共施設整備基金	1,403,139	△ 699,000	704,139
その他特定目的基金	777,340	1,660	779,000
合計	5,412,327	△ 1,378,740	4,033,587

主な事業



火葬場建設事業



牧野南近隣公園整備事業